

## は じ め に

急速な社会の変化に伴い、今日、子どもたちに「確かな学力」や「豊かな心」、「健康・体力」など、「生きる力」を育むことが強く求められています。

そのような中、本県では「一人ひとりの夢の実現」を教育ビジョン推進の中期目標として掲げ、平成13年度から、少人数教育の推進、抽出児童生徒による学力調査の実施、指導事例集Webの作成、あるいは、授業公開・授業評価を生かした授業改善などを通して、「確かな学力」の定着・向上に取り組んでまいりました。

さらに、平成17年度からは、「学力向上総合プロジェクト事業」として、全県的な学力調査の実施や小・中・高等学校が連携した研修会の開催など、総合的な学力向上対策を強化してまいりました。

本学力調査は、学力の実態を把握し、指導方法の工夫改善に生かすことを目的として、平成17年11月、小学校5年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として実施したものです。

また、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るために、質問紙調査や学力に関する意識調査も併せて実施し、児童生徒や保護者、教員の学習に対する考え方等も把握してまいりました。

本報告書は、ペーパーテストの結果と考察、今後の指導方法等を、概要としてとりまとめたものであり、今後、質問紙調査や学力に関する意識調査の結果との関係を考察し、平成18年7月を目途に、より詳しくまとめていくことにしています。

各学校、関係教育機関におかれましては、本報告書を十分に活用し、児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明確にし、指導計画の見直しや指導方法の工夫改善を図るなど、学力向上対策に積極的に取り組んでいただきたいと思えます。

終わりにになりましたが、本調査を実施するにあたって格別な御尽力をいただきました各市町村教育委員会、各学校、山口大学教育学部の皆様に対しまして、深く感謝申し上げます。

平成18年3月

山口県教育委員会教育長 藤 井 俊 彦

# 目 次

はじめに

目 次

## **学力調査（ペーパーテスト）の概要** . . . . . 4

- 1 趣 旨
- 2 調査実施概要
  - (1) 調査対象
  - (2) 調査期日
  - (3) 調査内容、時間
  - (4) 調査問題の範囲
  - (5) 出題にあたっての留意点

## **結果の分析にあたっての基本的な考え方** . . . . . 6

- 1 語句の説明
- 2 結果分析の観点
  - (1) 個々の問題の学習状況の把握
  - (2) 総括的な学習状況の把握

## **調査結果の分析及び考察** . . . . . 8

- 1 各教科の調査結果と山口県全体の学力の傾向 ----- 8
  - (1) 教科別にみた問題ごとの通過率と設定通過率との比較
  - (2) 通過率ごとの児童生徒の割合
  - (3) 問題の難易度ごとの実現状況

## 2 教科別概要（ペーパーテスト）

(1) 小学校国語	-----	1 2
(2) 小学校社会	-----	1 6
(3) 小学校算数	-----	2 0
(4) 小学校理科	-----	2 4
(5) 中学校国語	-----	2 8
(6) 中学校社会	-----	3 2
(7) 中学校数学	-----	3 6
(8) 中学校理科	-----	4 0
(9) 中学校英語	-----	4 4

(資料)	.....	4 8
------	-------	-----

学力調査の出題範囲（小学校）	-----	4 8
学力調査の出題範囲（中学校）	-----	4 9

# 学力調査(ペーパーテスト)の概要

## 1 趣 旨

完全実施4年目を迎えた学習指導要領のねらいの実現状況を把握するために、県内児童生徒の学力の状況や傾向を分析することを通して、指導方法の工夫・改善、研修体制の充実、各学校における学力向上の取組みや児童生徒の学習意欲の向上、学習習慣の確立への支援等を行うことで、「確かな学力」のさらなる定着・向上を図る。

## 2 調査実施概要

### (1) 調査対象

学 年	調査実施人数
小学校第5学年	児童 13,534人
中学校第2学年	生徒 12,852人

### (2) 調査期日

平成17年11月22日(火)を基準日として、21日(月)～25日(金)の間で実施

### (3) 調査内容、時間

学 年	教科・時間
小学校第5学年	国語、社会、算数、理科(各教科45分)
中学校第2学年	国語、社会、数学、理科、英語(各教科50分)

### (4) 調査問題の範囲

学 年	範 囲
小学校第5学年	小学校第5学年の1学期までに学習した内容
中学校第2学年	中学校第2学年の1学期までに学習した内容

(巻末資料48ページ～49ページ参照)

(5) 出題にあたっての留意点

学力を、「単に知識や技能のみでなく、学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力まで含めたもの」ととらえ、児童生徒に身に付いた学力を把握できる問題を出題する。

各問題は、学習指導要領に示された内容に基づいたもので、評価の観点が明確な問題を出題する。

難易度（基礎・基本、標準、応用・発展）、問題の形式（選択・記入・記述）等の観点から、バランスよく出題する。

# 結果の分析にあたっての基本的な考え方

## 1 語句の説明

語句	説明
正答	正しい答え
準正答	完全な誤りではなく、正答とみなされるもの
誤答	誤った答え
通過率	設問ごとの正答または準正答を解答した児童生徒の割合 (式) 通過率 = (正答者 + 準正答者数) ÷ 全解答者数 × 100
設定通過率	学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけ、学習指導要領に想定された学習が行われた場合、個々の問題ごとに、通過率がどの程度になるかということを示した数値
内容・領域	学習指導要領に示されている各教科における指導内容の区分
評価の観点	指導要録の指導に関する記録における観点別学習状況の評価の観点

## 2 結果分析の観点

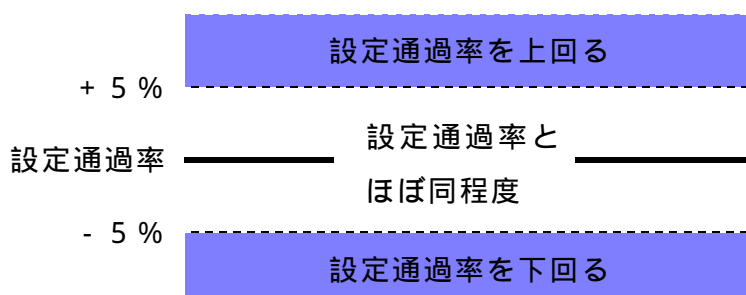
### (1) 個々の問題の学習状況の把握

設定通過率と通過率を比較することにより、学習の状況を把握するものであり、比較の基準を次のように定めることとする。

通過率が設定通過率より5%以上上回っているものを、「設定通過率を上回る」とする。

設定通過率を中心に上下それぞれ5%未満の幅に収まっているものを、「設定通過率とほぼ同程度」とする。

通過率が設定通過率より5%以上下回っているものを、「設定通過率を下回る」とする。



(国立教育政策研究所が実施した「平成15年度教育課程実施状況調査」の結果分析基準を参考に設定)

(2) 総括的な学習状況の把握

教科、学年ごとの総括的な学習状況について、以下の基準により、学習指導要領の目標、内容に照らして良好か、良好でないかを判断する。

	教科全体や内容・領域ごと、問題ごとの通過率と設定通過率の比較
良 好	通過率が設定通過率より5%以上上回っているもの 「設定通過率を上回る」
おおむね良好	設定通過率を中心に上下それぞれ5%未満の幅に収まっているもの 「設定通過率とほぼ同程度」
おおむね良好とはいえない	通過率が設定通過率より5%以上下回っているもの 「設定通過率を下回る」

# 調査結果の分析及び考察

## 1 各教科の調査結果と山口県全体の学力の傾向

### (1) 教科別にみた問題ごとの通過率と設定通過率との比較

#### 〔 小学校 5 年生 〕

教科	通過率 (%)	設定通過率 (%)	問題数	設定通過率を 上回る(A)	設定通過率と 同程度(B)	小計 (A)+(B)	設定通過率を 下回る(C)
国語	69.2	71.1	32	8	16	24	8
社会	70.1	70.0	30	12	10	22	8
算数	76.4	71.1	31	18	11	29	2
理科	63.9	67.1	40	8	16	24	16

理科 40 問のうち 10 問は選択問題

#### 〔 中学校 2 年生 〕

教科	通過率 (%)	設定通過率 (%)	問題数	設定通過率を 上回る(A)	設定通過率と 同程度(B)	小計 (A)+(B)	設定通過率を 下回る(C)
国語	66.4	63.4	32	11	13	24	8
社会	54.7	56.0	34	10	9	19	15
数学	58.1	60.6	24	9	5	14	10
理科	66.3	62.5	40	23	11	34	6
英語	64.6	62.8	34	17	3	20	14

〔注〕(A)・・・通過率が設定通過率を5%以上上回る問題数  
 (B)・・・通過率が設定通過率±5%未満の問題数  
 (C)・・・通過率が設定通過率を5%以下回る問題数

#### 考 察

すべての教科において、通過率が「設定通過率を上回る」もしくは「設定通過率と同程度」であり、このことから、山口県の児童生徒の学力は、学習指導要領の目標・内容に照らして、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

すべての教科において、「設定通過率を上回る」もしくは「設定通過率と同程度」の問題数の合計が、全体の問題数の半数以上を占めており、学習内容はおおむね定着していると考えられる。



(2) 通過率ごとの児童生徒の割合

〔 小学校 5 年生 〕

教科	設定通過率を大幅に上回る(A)	設定通過率を上回る(B)	設定通過率と同程度(C)	設定通過率を下回る(D)	設定通過率を大幅に下回る(E)	通過率(%)	設定通過率(%)
国語	4.0	34.0	24.1	23.7	14.2	69.2	71.1
社会	15.8	30.5	19.8	17.7	16.2	70.1	70.0
算数	21.5	40.1	14.1	13.4	10.9	76.4	71.1
理科	7.4	23.9	26.0	24.0	18.7	63.9	67.1

〔 中学校 2 年生 〕

教科	設定通過率を大幅に上回る(A)	設定通過率を上回る(B)	設定通過率と同程度(C)	設定通過率を下回る(D)	設定通過率を大幅に下回る(E)	通過率(%)	設定通過率(%)
国語	19.8	33.1	17.7	18.5	10.9	66.4	63.4
社会	18.2	23.0	15.7	21.9	21.3	54.7	56.0
数学	22.0	20.9	10.7	22.6	23.8	58.1	60.6
理科	23.4	27.9	21.2	15.0	12.5	66.3	62.5
英語	20.3	26.6	18.6	17.8	16.6	64.6	62.8

〔注〕(A)…通過率が設定通過率を20%以上上回る児童生徒の割合(%)

(B)…通過率が設定通過率を5%以上～20%未満上回る児童生徒の割合(%)

(C)…通過率が設定通過率±5%未満(設定通過率と同程度)の児童生徒の割合(%)

(D)…通過率が設定通過率を5%以上～20%未満下回る児童生徒の割合(%)

(E)…通過率が設定通過率を20%以上下回る児童生徒の割合(%)

**考 察**

小学校は算数において、「設定通過率を大幅に上回る」「設定通過率を上回る」児童の割合が多く、学習内容は定着していると考えられる。国語、社会、理科においては、「設定通過率を上回る」「設定通過率と同程度」の児童の割合が多く、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

中学校は国語、理科、英語において「設定通過率を大幅に上回る」「設定通過率を上回る」生徒の割合が半数近くを占めており、学習内容は定着していると考えられる。社会、数学においては、「設定通過率を大幅に上回る」「設定通過率を上回る」「設定通過率と同程度」の生徒の割合が半数以上を占めており、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

(3) 問題の難易度ごとの実現状況

〔 小学校 5 年生 〕

教科	難易度	基礎・基本	標準	応用・発展	全体
国語	通過率(%)	92.3	74.8	34.3	69.2
	設定通過率(%)	88.3	72.1	53.6	71.1
社会	通過率(%)	89.2	74.0	50.1	70.1
	設定通過率(%)	81.0	71.5	60.0	70.0
算数	通過率(%)	86.5	75.2	59.6	76.4
	設定通過率(%)	82.3	70.0	52.1	71.1
理科	通過率(%)	83.4	64.6	49.3	63.9
	設定通過率(%)	79.4	69.4	55.4	67.1

〔 中学校 2 年生 〕

教科	難易度	基礎・基本	標準	応用・発展	全体
国語	通過率(%)	81.6	64.2	47.2	66.4
	設定通過率(%)	72.5	62.1	51.9	63.4
社会	通過率(%)	71.9	55.2	39.9	54.7
	設定通過率(%)	67.5	56.8	46.7	56.0
数学	通過率(%)	79.2	46.6	38.1	58.1
	設定通過率(%)	73.5	57.5	43.3	60.6
理科	通過率(%)	87.8	66.0	43.2	66.3
	設定通過率(%)	76.9	61.6	49.3	62.5
英語	通過率(%)	70.9	66.0	53.6	64.6
	設定通過率(%)	70.8	64.2	49.4	62.8

〔注〕 基礎・基本 … 学習指導要領の目標・内容に照らして、難易度が低いと考えられる問題

標準 … 学習指導要領の目標・内容に照らして、標準的な難易度と考えられる問題

応用・発展 … 学習指導要領の目標・内容に照らして、難易度が高いと考えられる問題

**考 察**

「基礎・基本」「標準」の問題については、小学校理科、中学校社会、中学校数学の「標準」を除くすべての教科において設定通過率より高く、学習内容は定着していると考えることができる。反面、「応用・発展」の問題については、小学校算数、中学校英語を除くすべての教科において設定通過率より低く、課題があると考えることができる。

## 2 教科別概要（ペーパーテスト、質問紙調査）

### （1）小学校国語

#### 出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項から出題する。

イ 「国語への関心・意欲・態度」「話す、聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの観点から出題する。

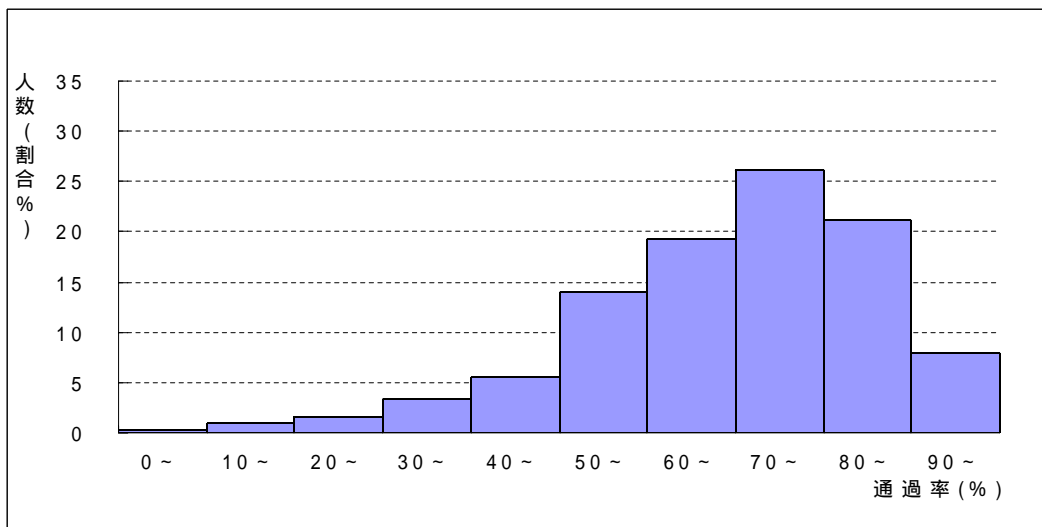
#### 通過率と通過率分布

##### ア 通過率

通過率	設定通過率
69.2	71.1

##### イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	0.3	1	2	3	6	14	19	26	21	8



#### 考察

通過率は69.2%で設定通過率とほぼ同程度であり、学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率70%以上の児童の割合は約55%であり、学習内容は、おおむね定着していると考えられる。

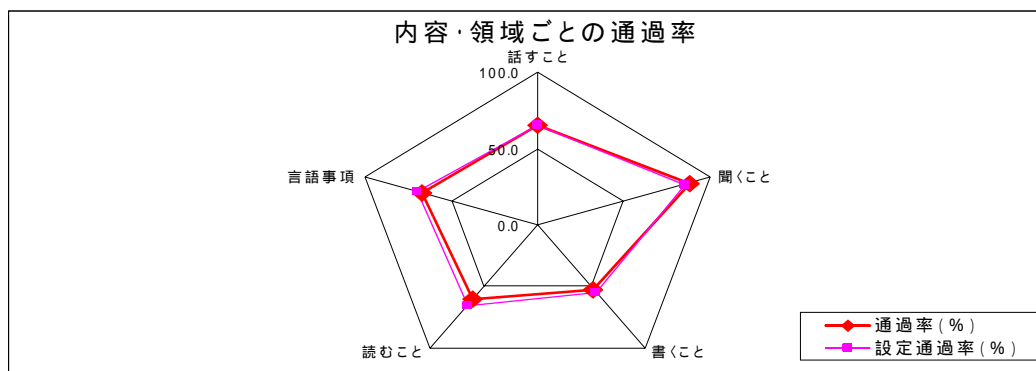
## 各設問の通過率

### 考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが8問、同程度のものが16問、下回るものが8問である。このことから、学習内容は、おおむね定着していると考えることができる。

## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	話すこと	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
通過率(%)	65.2	87.8	51.9	60.1	67.3
設定通過率(%)	65.0	85.0	55.0	65.0	69.7

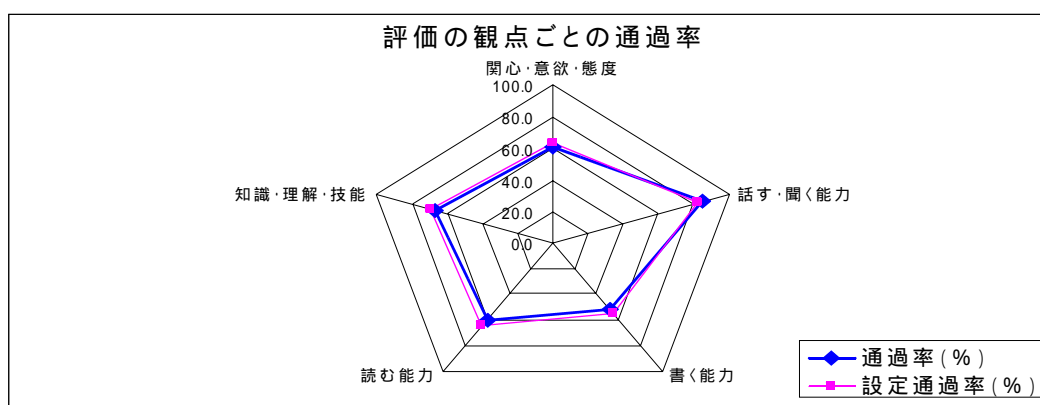


### 考察

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項について、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
通過率(%)	60.8	84.5	51.9	60.1	66.7
設定通過率(%)	63.3	82.1	55.0	65.0	69.4



### 考察

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5観点について、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができるが、「読むこと」「言語事項」における応用・発展的な問題の通過率が低く、個々の問題について考察し、きめ細かな指導の充実に努めることが必要である。

「朝の読書」など各学校で読書活動を推進しているが、今後も幅広く読書に親しみ、読書を通して考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むことの指導を充実していくことが必要である。

### 内容・領域別

#### 話すこと・聞くこと

- ・ 「聞くこと」は通過率が高い状況にあるが、今後、「話すこと」の指導を一層充実し、バランスのとれた力を身に付ける必要がある。

#### 書くこと

- ・ 「文脈の通った文章を書くこと」「段落と段落との続き方に注意をして書くこと」等、書こうとすることが明確になるように、叙述する能力や態度を育てる指導方法を工夫する必要がある。

#### 読むこと

- ・ 「文章の構成を読み取る」「キーセンテンスを見つける」などの問題の通過率が低い状況が見られる。今後、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考え、文章を読む」力を身に付ける指導の充実が必要である。

#### 言語事項

- ・ 語句の意味をとらえたり、文章にふさわしい助詞や副詞を選んだりする内容は設定通過率を上回る状況にある。しかし、主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係など文の構成に関する事項の通過率は低く、様々な機会をとらえて指導する必要がある。
- ・ 漢字については、総画数、部首などの知識理解は設定通過率を上回る状況にあるが、書き取りは十分でない状況が見られる。今後、新出漢字の活用などの指導取り入れ、児童の興味・関心を高め、語彙を増やすとともに、反復学習等を通じて定着を図る必要がある。

( 2 ) 小学校社会

出題方針

- ア 学習指導要領の目標、内容に即し、第3学年及び第4学年の内容、第5学年「我が国の農業や水産業の様子と国民生活との関連」から出題する。
- イ 「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断」「観察・資料活用の技能・表現」「社会的事象についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

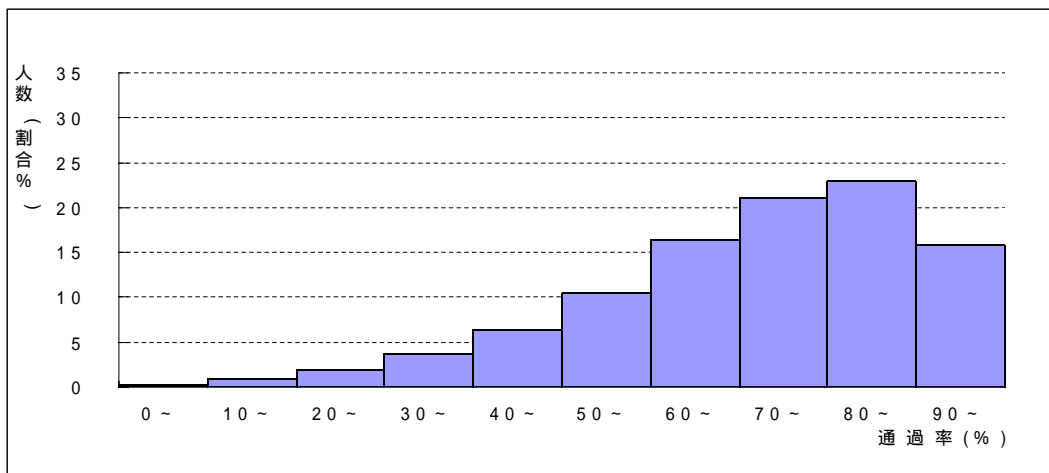
通過率と通過率分布

ア 通過率

通過率	設定通過率
70.1	70.0

イ 通過率分布

(以上) 通過率 (未満)	0 ~ 10	10 ~ 20	20 ~ 30	30 ~ 40	40 ~ 50	50 ~ 60	60 ~ 70	70 ~ 80	80 ~ 90	90 ~ 100(以下)
分布(%)	0.3	0.9	1.6	3.3	5.6	14.0	19.3	26.1	21.1	7.9



**考 察**

通過率は、70.1%で、設定通過率と同程度であり、学習内容の定着については、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率70%以上の児童の割合は約60%であり、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

## 各設問の通過率

### 評価の観点

自然事象への関心・意欲・態度  
科学的な思考  
観察・実験の技能・表現  
自然事象についての知識・理解

### 難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

### 過去問

県：H14山口県学力調査問題

国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1	(1)	1	健康を守るための諸活動	A		上水道の確保	80.9	80.0
	(2)	2		A		上水道の使用量の変化	92.5	85.0
	(3)	3		B		上水道の使用量の増加の原因	79.7	65.0
	(3)	4		C		上水道の使用量の増加の原因	43.3	60.0
	(4)	5		B		節水のために自分にできること	87.4	75.0
2	(1)	6	め安全の諸を守るた	A		火災発生時の関係機関への連絡体制	93.3	80.0
	(1)	7		A		火災発生時の関係機関への連絡体制	95.7	80.0
	(2)	8		C		火災発生時の電力会社の協力内容	51.1	60.0
	(3)	9		B		火災発生時の関係機関の協力	91.0	75.0
3	(1)	10	県の地形や産業など	B		県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子等を地図にまとめていく手順	80.1	70.0
	(2)	11		B		8方位	64.9	65.0
	(3)ア	12		C		山口県を囲む海洋名	57.6	60.0
	(3)イ	13		C		山口県を囲む海洋名	37.8	60.0
	(4)ア	14		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	39.2	60.0
	(4)イ	15		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	38.1	60.0
	(4)ウ	16		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	63.3	60.0
	(4)エ	17		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	70.2	60.0
4	(1)	18	我が国の農業や水産業	B	国	野菜の生産地を調べる方法	67.7	75.0
	(2)	19		A	国	畜産物の生産と自然環境との関係	83.8	80.0
	(3)ア	20		B	国	主な果物の生産地	62.6	75.0
	(3)イ	21		B	国	主な果物の生産地	73.4	75.0
	(4)	22		B	国	外国から輸入している食料	81.8	70.0
5	(1)	23		B	国	稲作の盛んな地域の工夫	82.8	75.0
	(2)	24		B	国	品種改良	34.2	65.0
	(3)	25		B	国	稲作の工夫の共通点	85.0	75.0
6	(1)	26		B	国	水揚げ量の多い港名	72.1	70.0
	(1)	27		B	国	水揚げ量の多い港名	72.8	70.0
	(1)	28	B	国	水揚げ量の多い港名	68.3	70.0	
	(2)	29	B		主な漁港の分布	81.1	75.0	
	(3)	30	B	国	よい漁場の条件	72.3	70.0	
平均							70.1	70.0

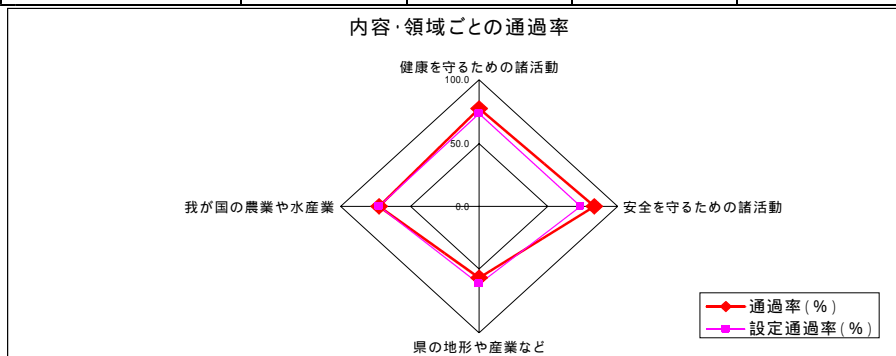
### 考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが12問、同程度  
のものが10問、下回るものが8問である。このことから、学習内容  
はおおむね定着していると考えることができる。



## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	健康を守るための諸活動	安全を守るための諸活動	県の地形や産業など	我が国の農業や水産業
通過率(%)	76.8	82.8	56.4	72.2
設定通過率(%)	73.0	73.8	61.9	72.7



### 考察

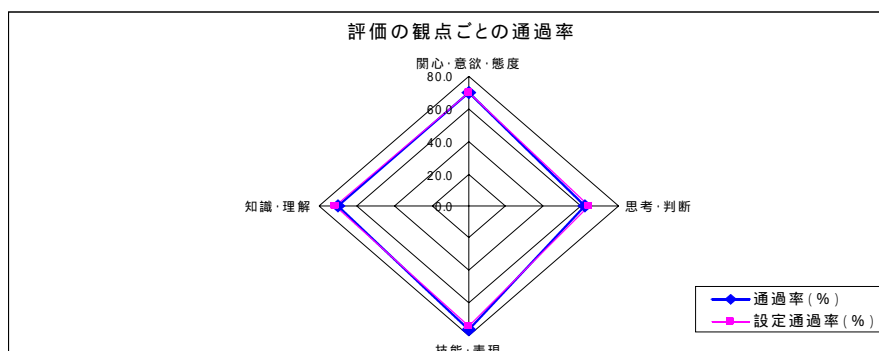
「安全を守るための諸活動」については、通過率が設定通過率を上回っていることから、「良好」な状況と考えることができる。

「健康を守るための諸活動」「我が国の農業や水産業」については、ほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

「県の地形や産業など」については、「おおむね良好とはいえない」状況と考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
通過率(%)	70.1	62.3	76.2	70.0
設定通過率(%)	70.0	63.9	73.9	71.4



### 考察

すべての観点において、通過率が設定通過率を上回るか、ほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

全体的には、学習内容の定着は、「おおむね良好」な状況と考えられるが、今後とも、体験的・問題解決的な学習など多様な学習活動を効果的に取り入れ、児童が自ら主体的に問題を追究する授業への改善を図ることが必要である。

「県の地形や産業など」については、課題があると考えられることから、基礎的事項の定着を図るとともに、複数の資料を相互に関連付けて考える力などを伸ばしていく学習を工夫することが必要である。

### 内容・領域別

#### 健康を守るための諸活動

- ・ 「おおむね良好」な状況であるが、生活様式の変化の図から水の使用量の増加の原因を記述する問題の通過率が低いことから、図表等から社会的事象を推測する学習を十分に取り入れることが大切である。

#### 安全を守るための諸活動

- ・ 設定通過率を大きく上回っているが、火災発生時の関係機関の協力内容を記述する問題の通過率が、他の問題に比べて低いので、安全を守るために様々な機関が協力していることを理解する学習を工夫することが大切である。

#### 県の地形や産業など

- ・ 山口県を囲む海洋名を問う問題や地域を紹介したカードの地図上の位置を問う問題の通過率が低いことから、地形や産業などの特色に対する理解を深める学習をさらに充実させることが必要である。
- ・ 常に地図を教室に掲示するなど、日常的に地図の見方や地形について学習する機会を増やしたり、主な都市の名称、位置、方位などを確認する学習を取り入れたりすることで、児童が地図に関心をもち、理解を深めるよう工夫することが大切である。

#### 我が国の農業や水産業

- ・ 「おおむね良好」な状況であるが、国の調査結果と同様に、品種改良の用語を問う問題の通過率が低いので、基礎的事項を確実に理解する学習を充実させるとともに、今後とも、統計資料や分布図等を読み取る力の育成を一層重視することが大切である。

(3) 小学校算数

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4領域から出題する。

イ 「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての表現・処理」「数量や図形についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

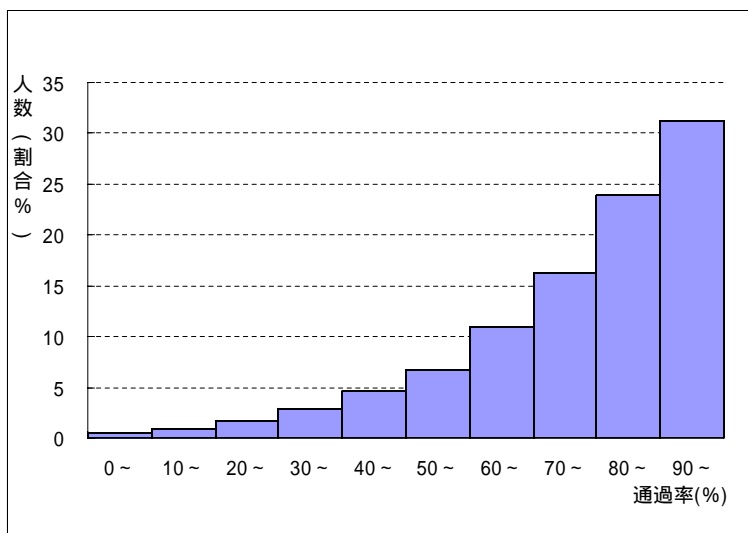
通過率と通過率分布 (調査実施児童 13,534人)

ア 通過率

通過率	設定通過率
76.4	71.1

イ 通過率の分布

(以上)	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
通過率	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
(未満)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100(以下)
分布 (%)	0.5	0.9	1.7	3.0	4.7	6.7	11.0	16.3	23.9	31.2



**考 察**

通過率は76.4%で、設定通過率を5%以上上回っており、学習内容の定着については、「良好」な状況と考えることができる。

通過率80%を上回っている児童が全体の55%以上であり、学習内容は定着していると考えられる。

## 各設問の通過率

### 評価の観点

算数への関心・意欲・態度  
 数学的な考え方  
 数量や図形についての表現・処理  
 数量や図形についての知識・理解

### 難易度

A 基礎・基本  
 B 標準  
 C 応用・発展

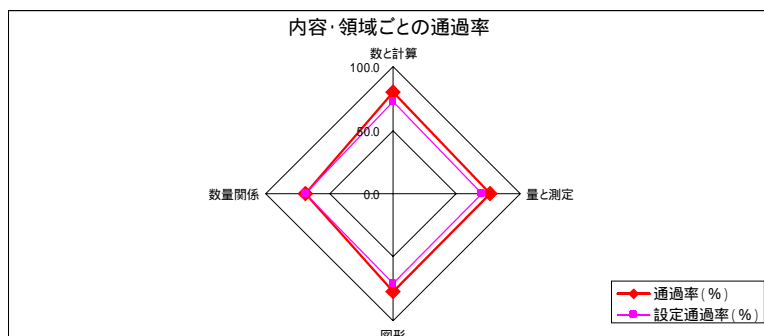
問題	連番	内容・領域	評価の観点	難易度	内 容	通過率	設定通過率	
1	(1)	数と計算		A	小数の減法の計算ができる。	89.6	90.0	
	(2)		A	小数の乗法の計算ができる。	93.7	85.0		
	(3)		A	整数の除法の計算ができる。	91.3	80.0		
	(4)		B	小数の除法の計算ができる。	80.7	70.0		
2	(1)		A	十進位取り記数法の意味について理解している。	81.6	80.0		
	(2)		B	十進位取り記数法の意味について理解している。	72.8	75.0		
	(3)		C	十進位取り記数法の意味について理解している。	90.6	50.0		
3	(1)		A	奇数の意味を理解している。	80.9	85.0		
	(2)		B	偶数、奇数を判断することができる。	75.1	75.0		
4	(1)		B	概数で表すことができる。	75.5	70.0		
	(2)		B	目的に応じて、概数を活用する。	69.4	65.0		
	(3)		C	目的に応じて、概数を活用する。	60.0	50.0		
5	(1)		量と測定		A	四角形の面積を求めることができる。	88.8	90.0
	(2)	C		面積の単位の関係について理解している。	35.1	50.0		
6	(1)	A		長方形の面積を求めることができる。	87.4	80.0		
	(2)	A		正方形の面積を求めることができる。	82.8	80.0		
7	(1)	B		複合図形の面積の求め方を考える。	82.4	70.0		
	(2)	C		複合図形の面積の求め方を考える。	69.8	50.0		
8	(1)	A		鋭角の角度を求めることができる。	91.0	80.0		
	(2)	C		180度より大きい角の角度を求めることができる。	68.8	60.0		
9	(1)	A		垂直について理解している。	83.7	80.0		
	(2)	A		平行について理解している。	88.0	80.0		
10	(1)	図形			B	三角形の内角の和の求め方をもとにして、四角形の内角の和の求め方を考える。	73.8	65.0
	(2)			B	平行四辺形の性質を理解している。	80.2	75.0	
11	(1)			C	平行四辺形の性質や三角形の内角の和が180°であることなどをもとに、角の大きさを求める。	61.8	55.0	
	(2)							
12	(1)			数量関係		A	階段の形の周りの長さを求めることができる。	89.1
	(2)	B			段数を増やしたときの階段の周りの長さの求め方を考える。	75.6	75.0	
	(3)	B	階段の問題場面から、調べてみたいことを選ぶ。		70.0	65.0		
13	(1)	A	表の空欄の数値を、計算により求めることができる。		76.5	80.0		
	(2)	B	表の各欄の意味が分かる。		71.3	65.0		
	(3)	C	表の各欄の意味が分かり、あてはまる数値を求める。		31.1	50.0		
平均						76.4	71.1	

### 考 察

全問題のうち、設定通過率を上回るものが18問、同程度のものが11問、下回るものが2問である。このことから、学習内容は定着していると考えられる。

## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	数と計算	量と測定	図形	数量関係
通過率(%)	80.1	75.8	77.5	68.9
設定通過率(%)	72.9	70.0	71.0	69.2

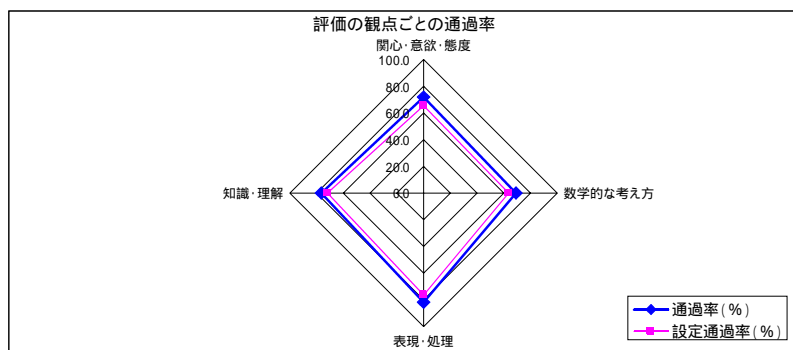


### 考察

「数と計算」「量と測定」「図形」については、設定通過率を上回っていることから「良好」、「数量関係」については、同程度であることから「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解
通過率(%)	71.9	68.9	82.1	76.6
設定通過率(%)	65.0	63.5	76.5	71.9



### 考察

「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「表現・処理」については、設定通過率を上回っていることから「良好」、「知識・理解」については、同程度であることから「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 全 体

全体的な通過率、通過率の分布、内容・領域ごとの通過率から見て、学習内容の定着は「良好」な状況であると考えられる。しかし、過去に実施された同一問題との比較から、数や量についての意味理解の学習等に課題が見られる。

これらの課題を解決するためには、自分の考えの根拠を説明したり、他の児童の考えを理解したりする学習や既習事項を活用する学習を取り入れるなどの工夫が必要である。

通過率が設定通過率を下回っている問題からみると、論理的な考え方の育成に課題があると考えられる。自分の考えを具体物、言葉、絵や図、式などを用いて分かりやすく表現する活動を取り入れたり、様々な考えを比較したり関係付けたりする学び合いの学習を展開したりするなどの工夫が必要である。それにより、児童が表現する楽しさ、考える楽しさを味わうことが大切である。

## 内容・領域別

### 数と計算

- ・ 計算技能の問題については、通過率が比較的高く、学習内容が定着していると考えられる。十進位取り記数法や奇数の意味についての問題は、過去に出題されたものと同一問題であり、通過率はやや低下している。

形式的な操作の仕方のみを身に付けさせることだけで終わらないように配慮し、結果の見通しをもたせるなど、数の大きさについての感覚を育てる指導を充実する必要がある。

### 量と測定

- ・  $1\text{ m}^2$  を  $\text{c m}^2$  を用いて表す問題の通過率が、設定通過率を下回っている。作業的・体験的な活動を通して量の感覚を豊かにしたり、「数と計算」領域での学習と関連付けたりするなどの工夫改善を図ることが大切である。

### 図 形

- ・ すべての問題で設定通過率を上回っており、良好な状況である。作業的・体験的な活動を積極的に取り入れた指導を、一層充実することが大切である。

### 数量関係

- ・ 全体としては、おおむね良好な状況である。しかし、二つの観点で整理された表の数値を求める問題は、通過率が設定通過率を下回っている。指導にあたっては、実生活の場面と結び付けるなどの工夫が必要である。

#### (4) 小学校理科

##### 出題方針

- ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「生物とその環境」「物質とエネルギー」「地球と宇宙」の3領域から出題する。
- イ 「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考」「観察、実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

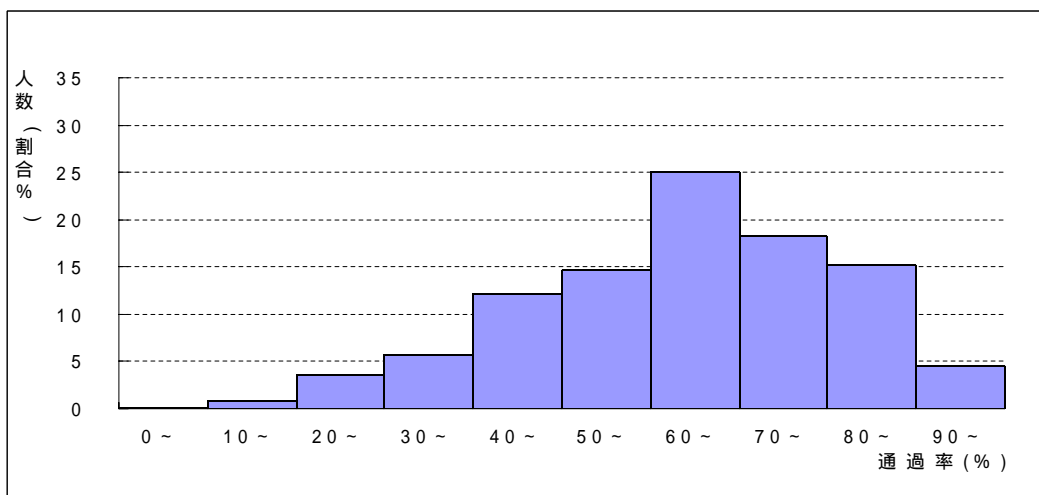
##### 通過率と通過率分布

###### ア 通過率

通過率	設定通過率
63.9	67.1

###### イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	0.1	1	4	6	12	15	25	18	15	5



##### 考察

通過率は63.9%で設定通過率を約3%下回っているが、学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率60~70%の児童が最も多く、学習内容は「おおむね定着」しているが、90%以上の児童が少ない。

## 各設問の通過率

### 評価の観点

自然事象への関心・意欲・態度  
科学的な思考  
観察・実験の技能・表現  
自然事象についての知識・理解

### 難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

### 過去問

県：H14山口県学力調査問題

国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1A	(1)	生物とその環境		B		メダカのとまごの大きさを選ぶ。	52.1	70.0
	(2)			B		メダカのおすめすを選ぶポイントを選ぶ。	78.3	70.0
	(3)-			B		精子という用語を書く。	59.8	70.0
	(3)-			B		受精という用語を書く。	47.2	70.0
	(4)			B		メダカのとまごが成長する様子を順序正しく並べる。	89.7	70.0
1B	(1)			B		ヒトの卵子の大きさを選ぶ。	72.3	70.0
	(2)			B		ヒトの子どもが育つ母体の名称を書く。	67.3	70.0
	(3)			B		栄養・不要物などの交換をする母体内の部位の名称を書く。	62.4	70.0
	(4)			B		胎盤のはたらきを選ぶ。	63.3	70.0
	(5)			B		ヒトが母体内で成長する様子を順序正しく並べる。	86.0	70.0
2	(1)	物質とエネルギー		A	県	インゲンマメの成長にかかわる条件設定(肥料)を選ぶ。	85.0	80.0
	(2)			A	県	インゲンマメの成長にかかわる条件設定(日光)を選ぶ。	79.6	80.0
	(3)			A	県	インゲンマメの成長に最も必要な条件設定を選ぶ。	86.5	80.0
	(4)			B	県	インゲンマメが最もよく成長した条件設定の選択理由を書く。	73.1	75.0
3	(1)-ア			A	国	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。	75.5	75.0
	(1)-イ			A	国	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。	91.0	80.0
	(1)-ウ			B	国	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。	74.8	70.0
	(1)-エ			B	国	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。	71.4	70.0
	(2)			B	国	花粉を観察するために、顕微鏡を適切に操作することができる。	65.0	65.0
4	(1)-ア			B		水のあたためり方を調べる方法を選ぶ。	51.1	70.0
	(1)-イ	B		水のあたためり方を選ぶ。	62.3	70.0		
	(2)	C		温度の違う水を混合した時の状態変化を選ぶ。	50.7	60.0		
5	(1)-1	B	県	電流が流れないつなぎ方を選ぶ。	30.1	60.0		
	(1)-2	C	県	電流の流れない理由を書く。	35.5	50.0		
	(2)-1	C	県	並列つなぎを選ぶ。	44.9	50.0		
	(2)-2	C	県	並列つなぎを選ぶ。	49.4	50.0		
	(3)	C	県	直列つなぎを書く。	35.4	50.0		
6	(1)	A		温度の上昇による空気の膨張で起こる現象を選ぶ。	81.9	80.0		
	(2)	A		温度の低下による空気の収縮で起こる現象を選ぶ。	79.3	80.0		
	(3)	C		温度の上昇による空気や水の膨張で起こる現象の理由を選ぶ。	59.1	60.0		
	(4)	C		目的に応じて条件を制御した正しい実験方法を選ぶ。	26.3	40.0		
7	(1)	A	国	進路予想図を基にして、雲の動きの変化を推論することができる。	88.0	80.0		
	(2)	C	国	台風による天気の変化に興味・関心をもち、雲の動きと天気の状況の関係について考察することができる。	48.0	60.0		
	(3)	C	国	台風による天気の変化に興味・関心をもち、雲の動きと天気の状況の関係について考察することができる。	61.7	60.0		
8	(1)	B		冬の代表的な星座オリオン座の名前を書く。	57.4	70.0		
	(2)	C		オリオン座の中の一等星ベテルギウスの色を選ぶ。	40.7	60.0		
	(3)	C		星の動きを観察する時、目印となるものを記入しておく理由を書く。	58.0	60.0		
	(4)	A		星座は時間が経つと位置は変わるか並ひ方は変わらないかを選ぶ。	83.6	80.0		
	(5)	C		星の動き方を調べるための道具を書く。	67.6	60.0		
平均							63.9	67.1

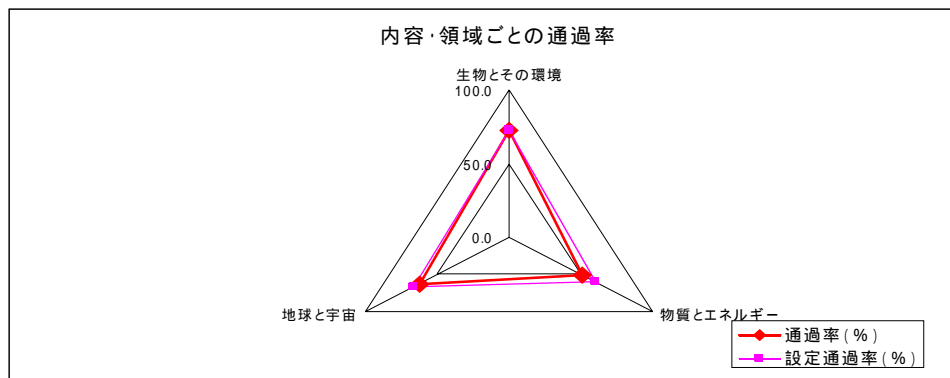
## 考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが8問、同程度のものが16問、下回るものが16問であるが、過去問との比較では、いずれも同程度の通過率であり、学習内容は「おおむね定着」していると考えることができる。



## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	生物とその環境	物質とエネルギー	地球と宇宙
通過率(%)	72.6	51.5	63.1
設定通過率(%)	72.4	60.0	66.3

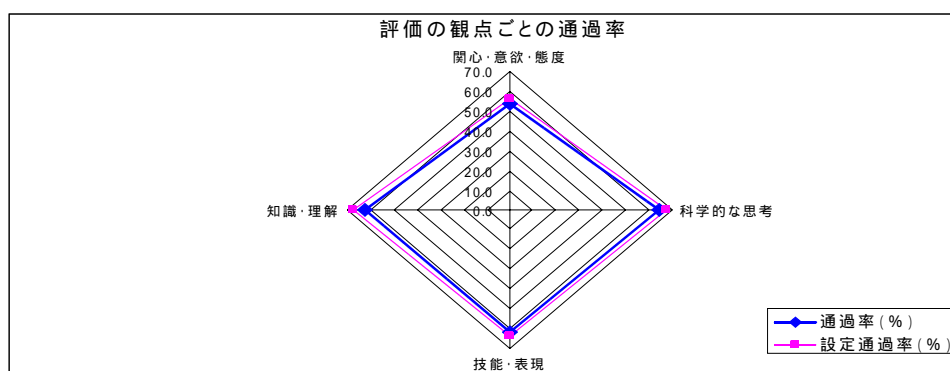


### 考察

「生物とその環境」「地球と宇宙」は、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。  
「物質とエネルギー」は、「おおむね良好とはいえない」状況と考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	科学的な思考	技能・表現	知識・理解
通過率(%)	53.4	64.3	61.6	62.5
設定通過率(%)	56.0	67.4	64.0	67.3



### 考察

「関心・意欲・態度」「科学的な思考」「技能・表現」「知識・理解」の全観点について、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

通過率が50%を下回った9問のうち、「科学的な思考」に関する問題が6問、「自然事象についての知識・理解」の問題が7問であった。観点別の通過率は「おおむね良好」な状況であるが、「科学的な思考」や「自然事象についての知識・理解」を高める必要がある。

児童が問題に対して予想や仮説、構想をもち、それらのもとに観察、実験などを工夫し問題解決していく中で、実感や納得、感動を味わいながら知識・理解を獲得させていく学習活動の設定が大切である。

応用・発展の問題は、いずれも通過率が低いことから、自然の事物・現象について学習したことを日常生活の中に結び付けて考えていく指導の工夫や、日常生活におけるものづくりの経験を一層充実させる必要がある。

### 内容・領域別

#### 生物とその環境

- ・ 「魚と人のたんじょう」の学習は、児童一人ひとりが魚あるいは人のいずれかを選択して学習する内容であるため、本来の選択学習の趣旨を生かした指導方法・指導体制の工夫・改善が必要である。
- ・ 「植物の発芽や成長」、「顕微鏡の操作」の学習は、設定通過率を上回った問題が多く、今後も、観察、実験を積極的に取り入れた指導が大切である。

#### 物質とエネルギー

- ・ 「電流のはたらき」は、山口県の過去に出題されたものと同一問題であるが、通過率の向上は見られなかった。電池の数やつなぎ方と豆電球の明るさを関係付けて考える力を高める必要がある。また、児童が自ら事物・現象に働きかけて問題解決できるために、性質や規則性を理解させる指導が必要である。
- ・ 「空気や水のかさの変化」の「目的の応じて条件を制御した正しい実験方法を選ぶ」問題では、通過率が26.3%であった。変化と関係する要因を抽出する学習に加えて、制御すべき要因と制御しない要因を区別しながら観察、実験を計画させる学習活動の充実が必要である。

#### 地球と宇宙

- ・ 「天気の変化」は、テレビや新聞、インターネット等の気象情報を活用して、天気を継続的に調べたり、変化を予想したりする学習活動が大切である。
- ・ 「星の特徴と動き」は、実際に星を観察する機会を多く設け、天体の美しさを感じとる体験をもたせたり、視聴覚教材やプラネタリウムなどの社会教育施設等を活用するなどして興味・関心をもたせたりする指導が必要である。

( 5 ) 中学校国語

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項から出題する。

イ 「国語への関心・意欲・態度」「話す、聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの観点から出題する。

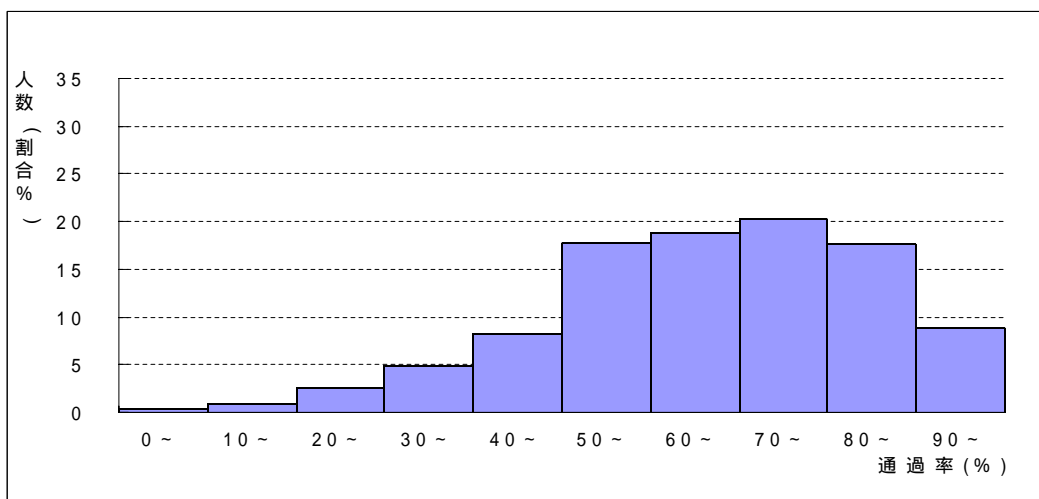
通過率と通過率分布

ア 通過率

通 過 率	設定通過率
66.4	63.4

イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	0.4	1	3	5	8	18	19	20	18	9



**考 察**

通過率は66.4%で、設定通過率を3%上回っており、学習内容の定着については、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率60%以上の生徒の割合は、66%であり、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

## 各設問の通過率

### 評価の観点

国語への関心・意欲・態度  
話す・聞く能力  
書く能力  
読む能力  
言語についての知識・理解・技能

### 難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

### 過去問

県：H14山口県学力調査問題  
国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1	一-A	話すこと・聞くこと		A		・筆者の考えを聞き取り、適切な語句を選ぶ。	76.0	75.0
	二			A		・筆者の考えを聞き取り、適切な語句を選ぶ。	64.2	70.0
	三			B		・本文中になかった主張を選ぶ。	55.1	60.0
	四	書くこと		C		・150字程度で、「個性」についての考えを書く。	69.7	55.0
2	一-1	言語事項		A		・漢字の読みがなを書く。	98.4	75.0
	一-2			B	県	・漢字の読みがなを書く。	70.2	65.0
	一-3			B	県	・漢字の読みがなを書く。	54.8	60.0
	一-4			C	県	・漢字の書き取りをする。	45.6	50.0
	一-5			C	県	・漢字の書き取りをする。	29.6	45.0
	二-ア			B	県	・同訓異字を区別する。	57.1	60.0
	二-イ			A	県	・文脈にふさわしい副詞を選ぶ	85.3	70.0
	二-ウ			A		・文脈にふさわしい慣用句を選ぶ。	95.0	75.0
	二-エ			A	県	・正しい敬語を選ぶ。	70.4	70.0
3	一	読むこと		A		・文脈をとらえ適切な語を補う。	67.5	70.0
	二			A		・場面の状況をとらえる。	88.3	75.0
	三			B		・登場人物の言動の意味をとらえる。	62.3	60.0
	四			C		・文脈における語句の意味をとらえる。	46.1	55.0
	五			A		・文章の構成や展開をとらえる。	94.7	75.0
	六			B		・文章の内容を読みとり自分の考えを書く。	71.6	60.0
	七			C		・文章の内容を読みとり自分の考えを書く。	59.0	55.0
4	一	読むこと		C		・述べられている事柄を正確に読みとる。	44.0	50.0
	二			B		・事柄をもとに考えながら読む。	58.9	60.0
	三			C		・段落の内容をつかみその役割をとらえる。	48.1	55.0
	四			B		・文章の展開をとらえ、ふさわしい接続詞を補う。	81.7	65.0
	五			B		・指示語の指示す内容をとらえる。	68.2	60.0
	六	読むこと・書くこと		C		・文章の論理を読みとり、的確にまとめ直す。	35.5	50.0
5	一-1	読むこと		B	国	・正しい現代仮名遣いを選ぶ。	58.2	65.0
	一-2			A	国	・正しい現代仮名遣いを選ぶ。	73.4	70.0
	一-3			A	国	・正しい現代仮名遣いを選ぶ。	91.0	75.0
	二			A	国	・動作の主語を探す。	74.5	70.0
	三			B	国	・登場人物の心情をとらえる。	62.8	65.0
	四			B	国	・登場人物の心情をとらえる。	68.9	65.0
平均							66.4	63.4

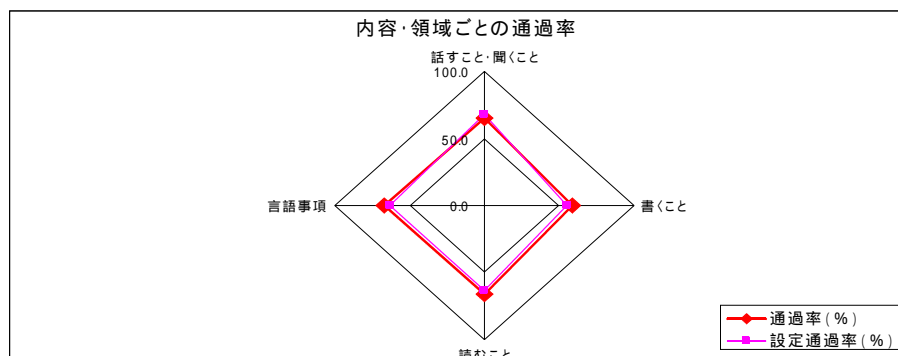
### 考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが11問、同程度のものが13問、下回るものが8問である。

このことから、学習内容は、おおむね定着していると考えることができる。

## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
通過率(%)	65.1	58.9	63.2	67.4
設定通過率(%)	68.3	55.0	63.2	63.3

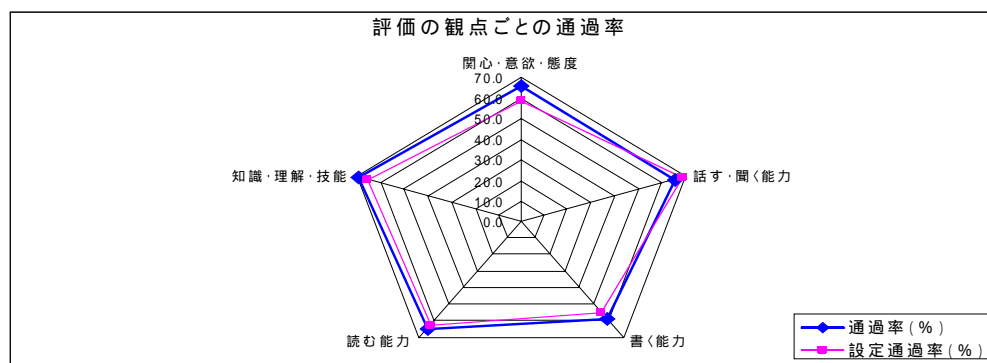


### 考察

全ての領域において、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
通過率(%)	65.9	65.1	58.9	64.5	69.1
設定通過率(%)	58.3	68.2	55.0	61.9	65.0



### 考察

「関心・意欲・態度」については通過率が設定通過率を上回っており「良好」、「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解・技能」については通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

読むことや書くことなど基礎・基本を問う問題では、設定通過率を上回っており、学力の定着が図られている。しかし、応用・発展の問題では、下回っており、目的や意図に応じて内容を的確に読み取る力や、論理的で効果的な文章を書く力を身に付けさせることが必要である。

文章の構成や展開を正確にとらえ、目的や意図に応じて的確に読み取る力を身に付けさせることが大切であり、幅広い範疇の読み物に親しめるような指導を充実する必要がある。

### 内容・領域別

#### 話すこと・聞くこと

- ・ 相手の意図を正確につかむ力を付けるため、計画的に「話すこと・聞くこと」を指導する機会を設け、話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意して聞く力を付ける指導が必要である。

#### 書くこと

- ・ 論理を読み取り、的確にまとめ直すことが十分に身に付いていない。まとめる材料を取捨選択し、分類・整理や系統立てを行い、適切な長さの文章にまとめる指導が必要である。

#### 読むこと

- ・ 基本的な文章の構成や展開をとらえながら読むことはできている。心情や論理の展開など、深く的確に読み取る力を付けるよう、日頃から様々な種類の文章を読む習慣を付けさせる指導が必要である。

#### 言語事項

- ・ 基本的な漢字の読み、文法、慣用句や敬語の用い方はほぼ身に付いているが、漢字の書き取り、同訓異字の区別については設定通過率を下回っている。単純な繰り返し学習だけでなく、文章を書いたり読んだりする活動を通して漢字を正しく用いる態度を養う指導が必要である。また、「伝え合う力」を高めるためにも、点画・筆順等に注意し、正しく整った文字を書くよう習慣づけることが大切である。

( 6 ) 中学校社会

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域1事項から出題する。

イ 「国語への関心・意欲・態度」「話す、聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの観点から出題する。

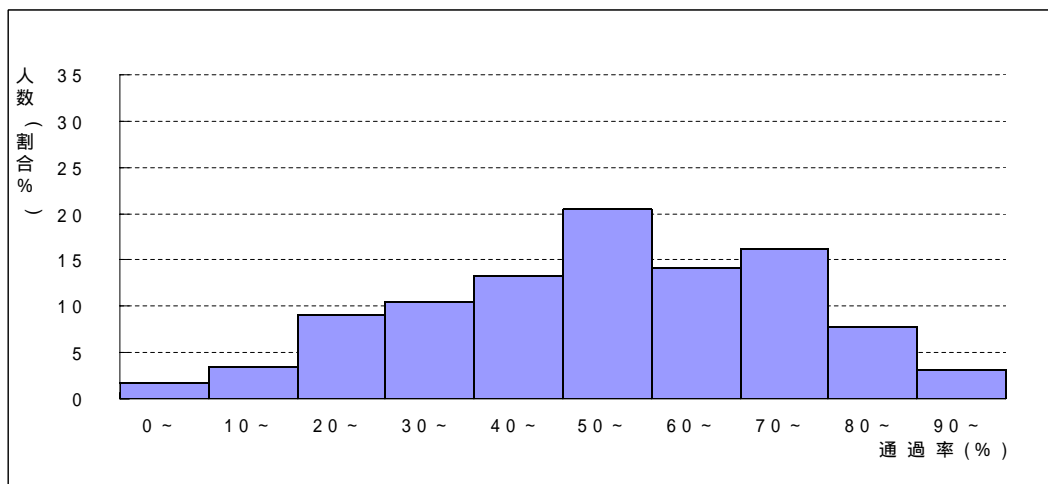
通過率と通過率分布

ア 通過率

通 過 率	設定通過率
54.7	56.0

イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	2	4	9	10	13	20	14	16	8	3



**考 察**

## 各設問の通過率

### 評価の観点

社会的事象への関心・意欲・態度  
 社会的な思考・判断  
 資料活用・表現  
 社会的な事象についての知識・理解

### 難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

### 過去問

県：H14山口県学力調査問題

国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

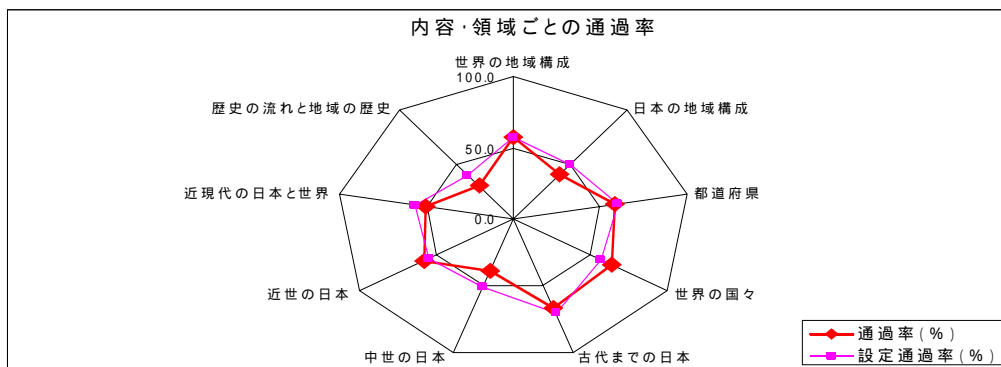
問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1	(1)	1	世界の地域構成	B		世界地図に関する用語を答える。	59.1	60.0
	(2)	2		B		資料から緯度と経度、時差などについて正しく読み取る。	56.1	55.0
	(3)	3	日本の地域構成	C		日本と資料中の国々の国土面積や経済水域の広さについて正しくとらえる。	40.7	50.0
	(4)	4		C		日本の国土の相対的位置について正しくとらえる。	41.4	50.0
2	(1)ア	5	都道府県	A		資料から、東京都の工業の特色を読み取る。	68.9	65.0
	(1)イ	6		B		出版・印刷業の立地条件について説明する。	52.5	55.0
	(2)	7		B		資料に合った課題を選択する。	51.1	55.0
	(3)	8		A		資料に合ったグラフを選択する。	58.9	65.0
	(4)	9	日本の地域構成	C		資料や白地図から県名を判断する。	41.1	50.0
3	(1)	10	世界の国々	B		アメリカ周辺の主な海洋名を選択する。	52.7	60.0
	(2)	11		B	国	アメリカが多民族国家であることを説明する資料を選択する。	86.2	60.0
	(3)	12		B	国	アメリカの工業の立地条件を説明する文を選択する。	62.8	55.0
	(4)	13		B	国	アメリカの自動車産業の調査方法について適切な方法を選択する。	67.6	55.0
	(5)	14		C		アメリカの航空機産業の立地条件を選択する。	44.0	40.0
4	(1)	15	世界の国々	A	国	サウジアラビアと日本の小麦の生産量等の変化を示した文を選択する。	72.4	65.0
	(2)ア	16		B	国	サウジアラビアが乾燥帯に属する国かどうかを判断する資料をあげる。	39.5	55.0
	(2)イ	17		B	国	サウジアラビアの農業用水の事情を調べる方法を選択する。	73.5	60.0
	(2)ウ	18		A	国	サウジアラビアの野菜等の生産量の変化を示した文を選択する。	82.4	65.0
5	(1)	19	近世の日本	B	国	近世の農民の生活を説明した文を選択する。	63.2	55.0
	(2)	20		B	国	近世の対外関係を説明した文を選択する。	54.3	60.0
	(3)	21		C	国	鎖国について説明する。	68.8	50.0
6	(1)	22	古代までの日本	A		古代と中世の日本と東アジア諸国の関係について説明した文を選択する。	67.2	70.0
	(2)	23	中世の日本	C		武家政治の始まりについて説明した文を選択する。	39.3	50.0
	(3)	24	近世の日本	A		鉄砲の伝来とその影響について説明した文を選択する。	81.5	75.0
	(4)	25	中世の日本	B		源平合戦の起こった地理的位置を白地図で示す。	48.6	55.0
	(5)	26	中世の日本	C		応仁の乱の主な戦場となった場所をあげる。	29.5	50.0
	(6)	27	歴史の流れと地域の歴史	C		戦いのあった時代順を答える。	30.6	40.0
7	(1)	28	近現代の日本と世界	B		18～19世紀に中国を支配した王朝名をあげる。	42.1	55.0
	(2)	29	近現代の日本と世界	B	国	外国船の来航とその歴史的背景を説明した資料を選択する。	61.6	55.0
	(3)	30	近世の日本	C		天保の改革について説明した文を選択する。	23.9	40.0
	(4)	31	近現代の日本と世界	B	国	日米修好通商条約の不等条項を選択する。	54.7	60.0
	(5)	32	近現代の日本と世界	B		幕末の教育者名をあげる。	33.0	60.0
	(6)	33	近現代の日本と世界	B	国	尊皇攘夷の考え方について説明した文を選択する。	56.0	55.0
	(7)	34	近現代の日本と世界	B	国	幕末の人物とその業績について説明する。	53.7	55.0
平均							54.7	56.0

## 考 察



## 内容・領域ごとの通過率

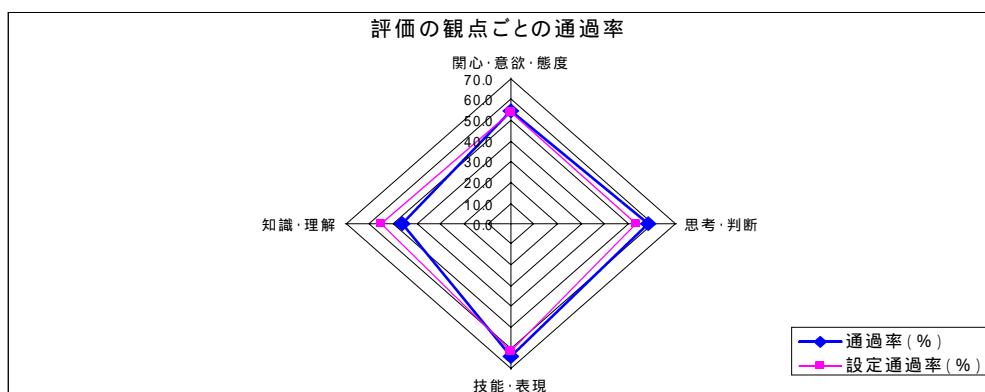
内容・領域等	世界の地域構成	日本の地域構成	都道府県	世界の国々	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近現代の日本と世界	歴史の流れと地域の歴史
通過率(%)	57.6	41.1	57.8	64.6	67.2	39.1	58.3	50.2	30.6
設定通過率(%)	57.5	50.0	60.0	57.2	70.0	51.7	56.0	56.7	40.0



### 考察

## 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
通過率(%)	54.0	58.0	63.7	45.8
設定通過率(%)	53.3	53.0	61.0	54.6



### 考察

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

---

．．

### 内容・領域別

---

話すこと・聞くこと

．．．．

書くこと

．

読むこと

読むこと

(7) 中学校数学

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「数と式」「図形」「数量関係」の3領域から出題する。

イ 「数学への関心・意欲・態度」「数学的な見方・考え方」「数学的な表現・処理」「数量、図形などについての知識・理解」の4つの観点から出題する。

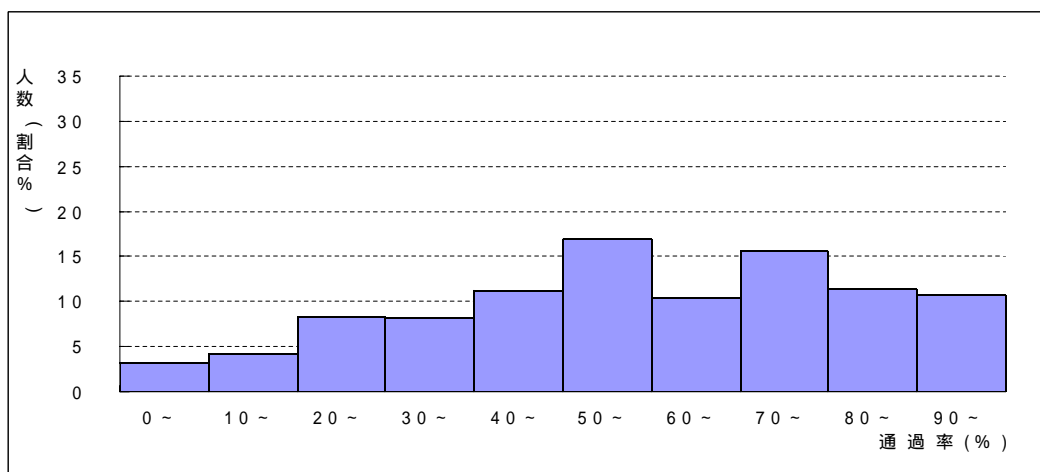
通過率と通過率分布

ア 通過率

通過率	設定通過率
58.1	60.6

イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	3	4	8	8	11	17	10	16	11	11



**考 察**

通過率は58.1%で、設定通過率とほぼ同程度であることから、学習内容の定着については、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

各階級の度数の差が小さく、学習内容の定着状況にばらつきがあると考えられる。

## 各設問の通過率

### 評価の観点

数学への関心・意欲・態度  
 数学的な見方・考え方  
 数学的な表現・処理  
 数量・図形などについての知識・理解

### 難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

### 過去問

県：H14山口県学力調査問題  
 国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1	(1)	1	数と式	A		・文字式の計算をする。	92.9	80.0
	(2)	2		A		・文字式の計算をする。	78.8	75.0
	(3)	3		A		・文字式の計算をする。	57.8	70.0
2	(1)	4		A		・一元一次方程式を解く。	86.6	80.0
	(2)	5		A		・指定された解をもつ方程式を選択する。	77.1	70.0
3	6	A			・連立方程式を解く。	70.6	70.0	
4	(1)	7		A		・連立方程式を立式する。	89.0	70.0
	(2)	8		A		・連立方程式を利用して解く。	75.4	70.0
5	(1)	9		A	県	・一次関数の表を完成する。	87.5	80.0
	(2)	10		B	県	・表で示された一次関数の式を求める。	42.1	60.0
	(3)記号	11		B	県	・一次関数のグラフを求める。	52.4	55.0
	(3)説明	12	C	県	・前問で解答した根拠を説明する。	31.6	50.0	
6	(1)	13	B		・比例のグラフの式を求める。	51.9	65.0	
	(1)	14	B		・反比例のグラフの式を求める。	35.5	55.0	
	(2)	15	B		・比例の事象を選択する。	37.0	55.0	
7	(1)	16	B		・おうぎ形の面積を求める。	35.4	55.0	
	(2)	17	C		・中心角の異なるおうぎ形で円錐の側面をつくる時、適当な円錐の形を選択する。	24.4	40.0	
8	18	B		・角の二等分線を作図する。	41.8	55.0		
9	(1)	19	A	国	・整数の性質に関心を持ち、具体的な例を挙げる。	76.0	70.0	
	(2)	20	C	国	・整数の性質についての説明を参考に、別の方法で説明する。	48.8	50.0	
	(3)	21	C		・(1),(2)を参考に、条件を変えた場合の整数の性質を見つける。	37.8	40.0	
10	22	C		・文字式が意味することを理解し、図に表して説明する。	22.4	40.0		
11	(1)	23	B	県	・さいころの見取り図により面の位置関係を明らかにし、正しい位置を選択する。	77.1	60.0	
	(2)	24	C	県	・さいころの見取り図により面の位置関係を明らかにし、正しい見取り図を選択する。	63.3	40.0	
平均							58.1	60.6

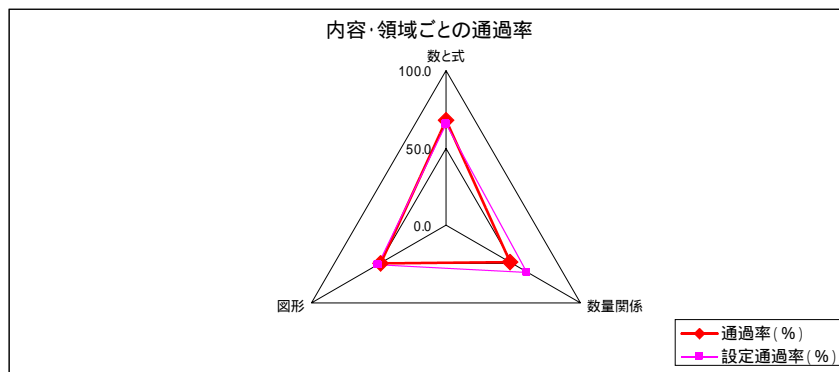
### 考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが9問、同程度のものが5問、下回るものが10問である。

このことから、学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	数と式	図形	数量関係
通過率(%)	67.8	48.4	48.3
設定通過率(%)	65.4	50.0	60.0

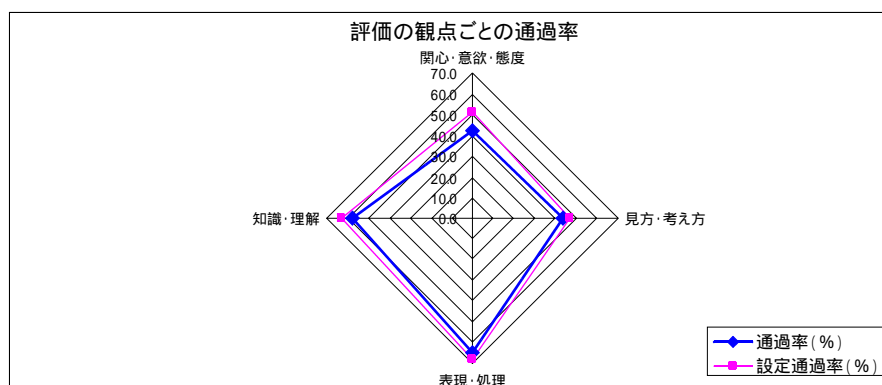


### 考察

「数と式」「図形」については、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。  
 「数量関係」については、通過率が設定通過率を下回っており、「おおむね良好とはいえない」状況と考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	見方・考え方	表現・処理	知識・理解
通過率(%)	48.5	43.4	64.7	61.6
設定通過率(%)	53.3	46.9	68.1	63.8



### 考察

すべての観点について、通過率が設定通過率を若干下回るが、ほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 全 体

基本的な式の計算や方程式を解くことについては、大変良好な結果となっている。反復学習などにより一層確実に定着させることが大切である。

理由を説明する記述問題の通過率が低いことから、表面的、形式的な理解にとどまっていたり、イメージはつかんでいても言語でうまく表現できない場合も少なくないと思われる。そこで、グループ学習等により、互いに説明し合ったり教え合ったりする場面等を充実させ、生徒が自分の考えを表現する活動を仕組みながら、理解を深めることが大切である。

理解の程度に差がつきやすい教科でもあることから、通過率の分布状況にばらつきがあるものの、通過率が70%以上の割合は38%に対して、30%未満の割合は15%と、比較的通過率が高い方向に分布している。少人数指導などによる個に応じた指導の工夫の成果も表れていると考えられ、今後ともきめ細かな指導の一層の充実をはかることが大切である。

## 内容・領域別

### 数と式

- 文字式の利用について通過率が低い。数量及び数量の関係を適切に表現することが必要なことから、生徒にとっては理解が困難な場合が少なくないが、文字を用いることの意義やよさを理解させながら、いろいろな事例を扱い体得させていくことが大切である。

### 図形

- 第1学年の学習内容における基本概念の定着が十分でないと考えられる。実物を見たり、描いたり、作ったりする中で、イメージや概念が形成され、感覚を膨らませることができることを重視し、生徒の興味や関心を高める工夫が大切である。

### 数量関係

- 一次関数の問題では、表と式、グラフの関連性について定着が十分でないと考えられる。傾きと切片の表面的理解はできていても、関数の根本的な概念についての理解が不足している場合があると思われる。変化の割合が一定であるという特徴が、表・式・グラフにどのように表れ相互に関連しているのかについてしっかりと把握させることが大切である。
- 比例、反比例について定着が十分でないと考えられる。一次関数を学習する中で、比例、反比例との関連性や特徴の違いなどについて適宜対比させながら指導することにより、一次関数の理解を一層深め、関数概念も含めて定着をはかることが大切である。

( 8 ) 中学校理科

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「植物の生活と種類」「大地の変化」「身近な物理現象」「身の回りの物質」「動物の生活と種類」「電流とその利用」の6つの内容から出題する。

イ 「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考」「観察、実験の技能・表現」「自然事象についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

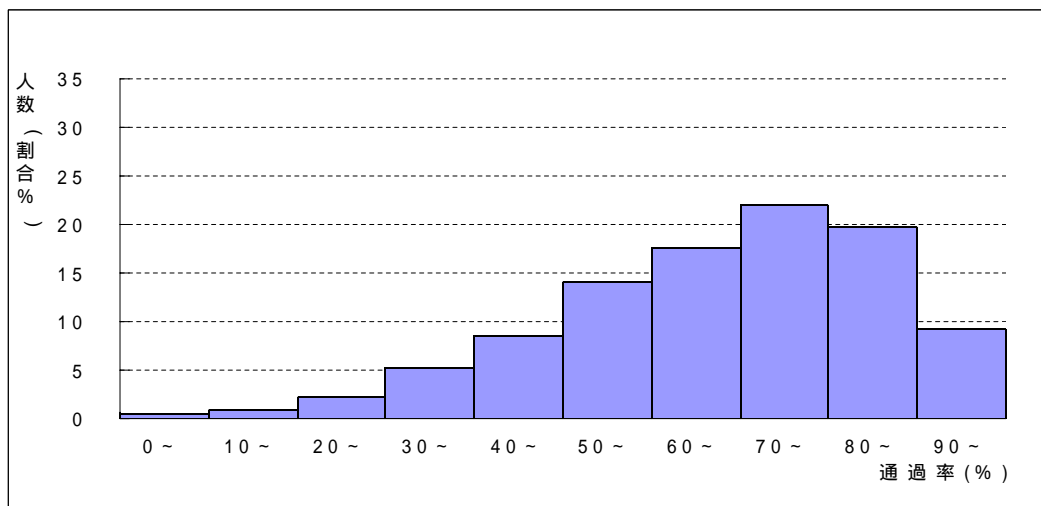
通過率と通過率分布

ア 通過率

通過率	設定通過率
66.3	62.5

イ 通過率分布 (調査実施生徒 人対象)

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	1	1	2	5	9	14	18	22	20	9



**考 察**

通過率は66.3%で、設定通過率を約4%上回っており、学習内容の定着については「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率が60%以上の生徒の割合が約70%であり、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

## 各設問の通過率

### 評価の観点

自然現象への関心・意欲・態度  
科学的な思考  
観察、実験の技能・表現  
自然現象についての知識・理解

### 難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

### 過去問

県：H14山口県学力調査問題

国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

問題	連番	領域	評価の 観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定 通過率
1	(1)	植物の生活と種類		B		・顕微鏡の操作手順について問う。	39.2	60.0
	(2)		A		・光合成によって、葉にデンプンがつくられていることについて問う。	88.4	80.0	
	(3)		B		・光合成が葉のどの部分で行われているかについて問う。	57.4	60.0	
2	(1)	植物の生活と種類		B		・植物のなかまのふやし方の特徴から植物の分類名について問う。	66.1	65.0
	(2)		B		・被子植物の分類の観点から、単子葉類の根の特徴について問う。	70.6	60.0	
	(3)		B		・いろいろな植物の特徴を比較して、植物のなかま分けについて問う。	81.7	65.0	
3	(1)	大地の変化		A	県	・初期微動継続時間と震源までの距離を関連づけて、科学的に考察することについて問う。	92.9	80.0
	(2)		A	県	・地震によるゆれの始まりの時刻のデータを的確に処理し、震央を見つけたことについて問う。	86.2	70.0	
	(3)		B	県	・地震の関心事として、日常生活の中で得ることのできる地震情報について問う。	85.4	65.0	
4	(1)	光・音・力		B		・凸レンズを使った実験で、実像の上下・左右の向きについて問う。	55.0	60.0
	(2)		C		・凸レンズを使った実験で、像の大きさと位置の関係について問う。	43.4	50.0	
5	(1)	光・音・力		B		・オシロスコープ上の波形から、音の高低の違いについて問う。	65.7	60.0
	(2)		B		・オシロスコープ上の波形から、音の大きさの違いについて問う。	90.3	70.0	
	(3)		C		・オシロスコープ上の波形から、おんさの種類について問う。	32.4	50.0	
6	(1)	身の回りの物質		A		・二酸化炭素の有無を調べるための石灰水の変化について問う。	95.1	80.0
	(2)		B		・二酸化炭素発生の有無から、有機物と無機物を見分け方について問う。	77.0	65.0	
	(3)		C		・実験や生活体験から、身近な金属の性質について問う。	34.6	50.0	
7	(1)	身の回りの物質		C	県	・純粋な物質の加熱のグラフから、純粋な物質の特徴について問う。	20.1	40.0
	(2)		B	県	・純粋な物質の加熱のグラフから、その物質の融点での状態について問う。	51.7	50.0	
8	(1)	動物の生活と種類		A		・背骨がある動物の名称について問う。	86.7	80.0
	(2)		A		・水中に産卵する動物の種類について問う。	80.7	75.0	
	(3)		B		・ほ乳類の子の生まれ方について問う。	66.3	60.0	
	(4)		B		・多くの卵が成長しきれない理由について問う。	85.1	70.0	
9	(1)	動物の生活と種類		B	県	・科学的な思考を達成するために対照実験の語句について問う。	61.9	60.0
	(2)		B	県	・実験の技能・表現を達成するために実験の操作手順について問う。	75.7	65.0	
	(3)		C	県	・科学的な思考を達成するために実験結果からの考察について問う。	51.3	50.0	
10	(1)	動物の生活と種類		B	国	・養分の吸収のしくみについて問う。	55.2	60.0
	(2)		B	国	・柔毛の働きについて問う。	50.6	55.0	
	(3)		B	国	・肝臓の働きについて問う。	66.0	60.0	
11	(1)	電流とその利用		B		・静電気の性質を調べる実験結果について問う。	69.9	60.0
	(2)		A		・まさつによって発生する電気の名称について問う。	93.8	80.0	
	(3)		B		・日常生活の中で起こる、静電気に関する現象について問う。	71.6	70.0	
12	(1)	電流とその利用		B	国	・電流計の正しい使用方法について問う。	74.7	65.0
	(2)		A	国	・電圧計の目盛りの読み方について問う。	78.2	70.0	
	(3)		B	国	・抵抗値をオームの法則から算出する方法について問う。	56.6	60.0	
13	(1)	電流とその利用		B		・磁石のまわりの磁力線の向きについて問う。	57.2	60.0
	(2)		B		・磁界の強さと磁力線の密度の関係について問う。	52.1	55.0	
14	(1)	電流とその利用		B	県	・身近な電気器具の中で、電流によって熱を発生させているものについて問う。	66.2	60.0
	(2)		C	県	・複数の電気器具を同時に使用する場合の安全な使い方について問う。	60.7	55.0	
	(3)		C		・電力の大きさの違いから、電気器具の能力の違いについて問う。	59.7	50.0	
平均							66.3	62.5

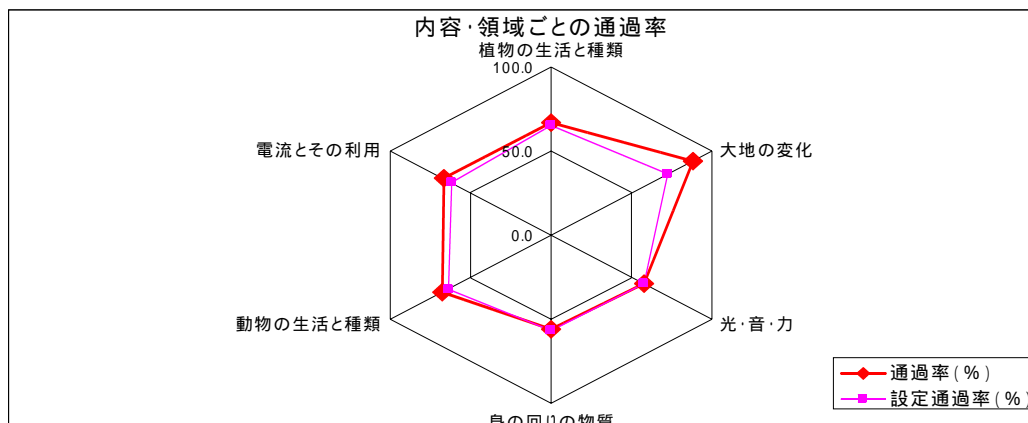
## 考 察

通過率が設定通過率を上回るものが23問、同程度のものが11問、下回るものが6問という結果から、学習内容はおおむね定着していると考えられる。



### 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	植物	大地	光・音・力	物質	動物	電流
通過率(%)	67.2	88.2	57.4	55.7	67.9	67.3
設定通過率(%)	65.0	71.7	58.0	57.0	63.5	62.3

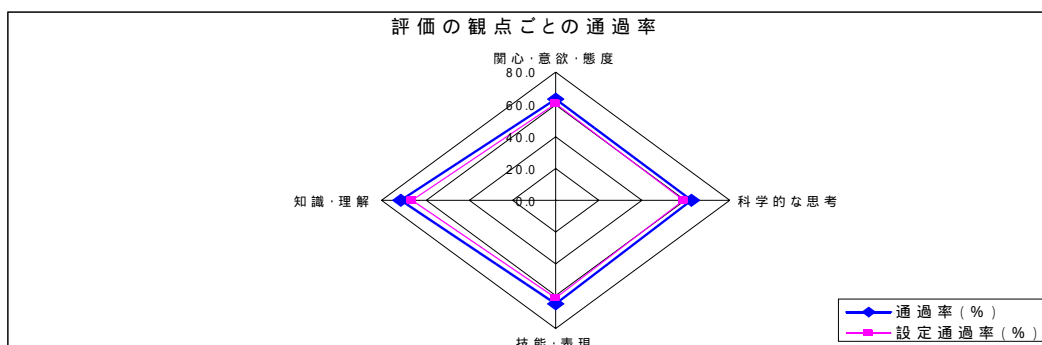


#### 考察

「大地」「電流」の領域において、通過率が設定通過率を上回っていることから「良好」、「植物」「光・音・力」「物質」「動物」の領域では、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから「おおむね良好」な状況と考えることができる。

### 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	科学的な思考	技能・表現	知識・理解
通過率(%)	63.1	62.4	64.3	71.3
設定通過率(%)	60.0	58.8	61.3	66.1



#### 考察

「知識・理解」の観点において、通過率が設定通過率を上回っていることから「良好」、「関心・意欲・態度」「科学的な思考」「表現・技能」の観点では、通過率が設定通過率とほぼ同程度であることから「おおむね良好」な状況と考えることができる。

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

前回（平成14年度学力調査）と比べると、同一問題の約8割の通過率が上回っており、学力向上の傾向が見られる。しかし、実験結果から考察する力を見る問題では、通過率が設定通過率より低いことから、目的意識をもって観察、実験に取り組み、その結果をグラフ化したり、比較、検討したりして考察する活動を重視した指導を工夫することが大切である。

### 内容・領域別

#### 植物の生活と種類

- ・ 顕微鏡の操作手順の通過率が低いことから、基本的な観察、実験の技能を身に付ける指導を工夫することが大切である。

#### 大地の変化

- ・ 学習内容の定着は良好である。さらに、地学的事象が長大な時間と高大な空間の中で互いに関連を保ちながら変化しているという見方や考え方を育てるために、野外観察などの体験活動を積極的に取り入れることが大切である。

#### 光・音・力

- ・ 5問中3問の通過率が設定通過率を下回っていることから、光や音、力など日常生活と関連した身近な物理現象に対する興味・関心を高めるとともに、実験結果から考察する過程を重視した指導を工夫することが大切である。

#### 身の回りの物質

- ・ 純粋な物質の加熱のグラフから純粋な物質の特徴を説明する問題の通過率が低いことから、結果をグラフ化する活動を重視するとともに、結果から考察したことを的確に説明する力を育てる指導を工夫することが大切である。

#### 動物の生活と種類

- ・ 柔毛の働きを記述する問題の通過率が低いことから、動物の生活や体のつくりと働きを関連付け、分かりやすく文章に表す力を育てる指導を工夫することが大切である。

#### 電流とその利用

- ・ 静電気の現象や電気器具の安全な使い方等の定着は良好である。しかし、オームの法則等の通過率が低いことから、目的意識をもって実験に取り組み、電流と電圧の関係や電力の違いについて、数量的な見方や考え方を育てる指導を工夫することが大切である。

( 9 ) 中学校英語

出題方針

ア 学習指導要領の目標、内容に即し、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3領域から出題する。

イ 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「表現の能力」「理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

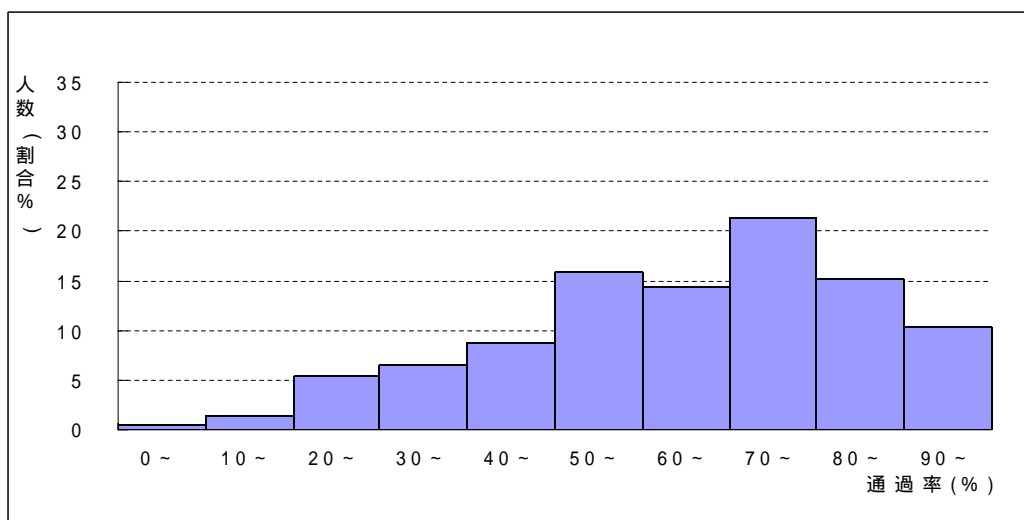
通過率と通過率分布

ア 通過率

通過率	設定通過率
64.6	62.8

イ 通過率分布

通過率	0 ~ 10.0	10.1 ~ 20.0	21.1 ~ 30.0	30.1 ~ 40.0	40.1 ~ 50.0	50.1 ~ 60.0	60.1 ~ 70.0	70.1 ~ 80.0	80.1 ~ 90.0	90.1 ~ 100
分布(%)	1	2	5	7	9	16	15	21	15	10



**考 察**

通過率は64.6%で設定通過率を約2%上回っており、学習内容の定着については、「おおむね良好」な状況と考えることができる。  
約半数の生徒が通過率70%を越えており、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

## 各設問の通過率

評価の観点  
 コミュニケーションの基礎・基本態度 B：標準 C：応用  
 表現の能力 過去問  
 理解の能力 県：H14山口県学力調査問題  
 言語や文化政策研究センター教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

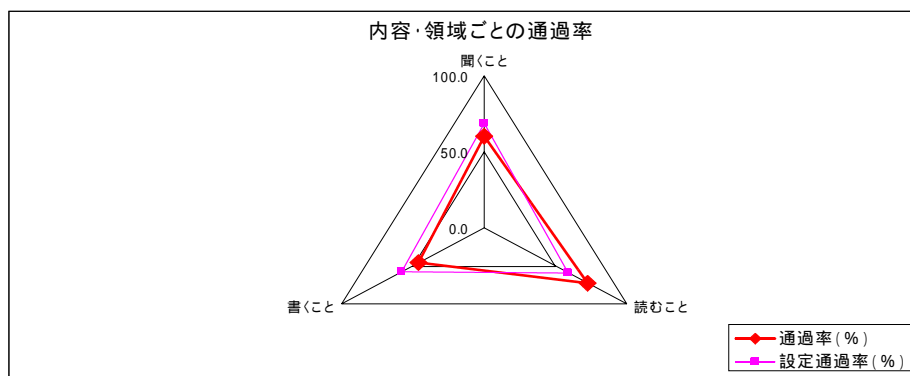
問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1	1	聞くこと		A	県	絵の内容についての質問に対する適切な応答文を選択肢の中から選ぶ。	94.1	80.0
	2			A	県	絵の内容についての質問に対する適切な応答文を選択肢の中から選ぶ。	57.7	70.0
	3			A	県	絵の内容についての質問に対する適切な応答文を選択肢の中から選ぶ。	64.8	70.0
2	1 番目			A		ある日の出来事を聞いて、その内容の順番となるよう絵を並べ替える。	61.8	70.0
	2 番目			B		ある日の出来事を聞いて、その内容の順番となるよう絵を並べ替える。	42.9	65.0
	3 番目			B		ある日の出来事を聞いて、その内容の順番となるよう絵を並べ替える。	48.5	65.0
	4 番目			B		ある日の出来事を聞いて、その内容の順番となるよう絵を並べ替える。	49.9	65.0
	5 番目			A		ある日の出来事を聞いて、その内容の順番となるよう絵を並べ替える。	82.4	70.0
3	1			A	県	相手の発話に対する適切な応答文を選択肢の中から選ぶ。	77.7	70.0
	2			B	国	相手の発話に対する適切な応答文を選択肢の中から選ぶ。	39.1	65.0
	3			B	国	相手の発話に対する適切な応答文を選択肢の中から選ぶ。	43.5	65.0
4	1	A		対話が行われている場面を選ぶ。	80.2	70.0		
	2	A		対話が行われている場面を選ぶ。	91.2	70.0		
	3	A		対話が行われている場面を選ぶ。	88.7	70.0		
	4	B		対話が行われている場面を選ぶ。	81.9	65.0		
5	1	B		何についての説明文なのかを選択肢の中から選ぶ。	75.6	65.0		
	2	B		何についての説明文なのかを選択肢の中から選ぶ。	73.5	65.0		
	3	B		何についての説明文なのかを選択肢の中から選ぶ。	89.5	65.0		
	4	B		何についての説明文なのかを選択肢の中から選ぶ。	73.6	65.0		
6	1	C	県	対話文を読み、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	49.0	50.0		
	2	C	県	対話文を読み、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	56.2	55.0		
7	1	B		メール文を読んで、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	90.3	60.0		
	2	B		メール文を読んで、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	84.1	60.0		
	3	C		メール文を読んで、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	85.9	55.0		
	4 (質問1)	C		メール文を読んで、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	82.8	55.0		
	4 (質問2)	C		メール文を読んで、内容についての質問に対する適切な答を選択肢の中から選ぶ。	65.6	50.0		
8	1	A		メモの内容が伝わるように( )内に適切な語を正しく書く。	56.0	70.0		
	2	A		メモの内容が伝わるように( )内に適切な語を正しく書く。	62.2	70.0		
	3	A		メモの内容が伝わるように( )内に適切な語を正しく書く。	51.8	70.0		
	4	A		メモの内容が伝わるように( )内に適切な語を正しく書く。	53.0	70.0		
9	1	C		自然な流れの対話になるように空白部分に入る3語以上の英文を書く。	55.4	50.0		
	2	C	県	自然な流れの対話になるように空白部分に入る3語以上の英文を書く。	32.6	40.0		
	3	C	県	自然な流れの対話になるように空白部分に入る3語以上の英文を書く。	36.7	40.0		
10	3 4	C	国	夏休みにどのように過ごしたかについて、与えられた出だしに従い、3文以上書く。	18.5	50.0		
平均							64.6	62.8

### 考 察

全問題のうち、設定通過率を上回るものが17問、同程度のものが3問、下回るものが14問である。このことから、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

## 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	聞くこと	読むこと	書くこと
通過率(%)	60.2	71.8	45.8
設定通過率(%)	68.6	58.3	57.5

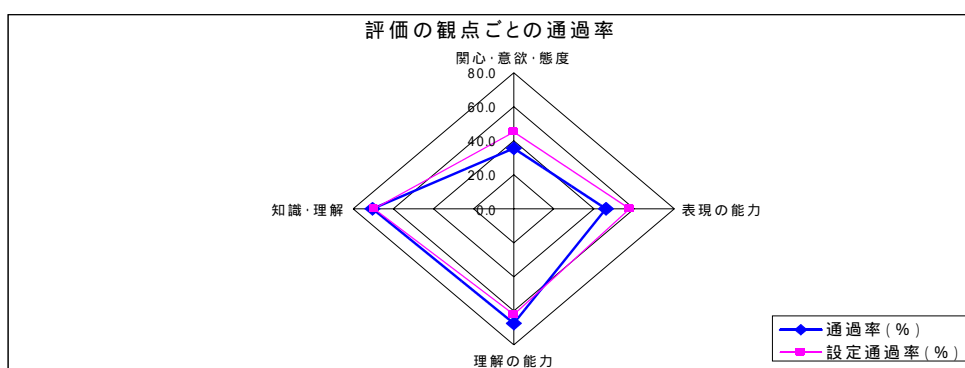


### 考察

「読むこと」については、通過率が設定通過率を上回っていることから「おおむね良好」な状況と考えることができる。  
 「聞くこと」「書くこと」については、通過率が設定通過率を下回っていることから「おおむね良好」な状況とはいえないと考えることができる。

## 評価の観点ごとの通過率

内容・領域等	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
通過率(%)	35.8	45.8	67.4	70.6
設定通過率(%)	45.0	57.5	62.2	69.4



### 考察

「理解の能力」については通過率が設定通過率を上回っていることから「良好」、「知識・理解」については、ほぼ同程度であり「おおむね良好」な状況と考えることができる。  
 「関心・意欲・態度」「表現の能力」については、通過率が設定通過率を下回っていることから「おおむね良好」な状況とはいえないと考えることができる。

## 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

### 全 体

「読むこと」については、良好な状況である。まとまった量の英文を読んで複数の情報を整理して正確に読み取る力をさらに付けていくことが大切である。

「聞くこと」「書くこと」については、通過率が下回っていることから、実践的コミュニケーション能力の視点を取り入れた学習活動を継続的、計画的に展開していくことが大切である。

### 内容・領域別

#### 聞くこと

- ・ 語句や文を聞き分けたり、質問や指示などに適切に应答したりすることに課題があることから、既習表現やclassroom Englishを積極的に用いて授業を進めるとともに、英語でのコミュニケーション活動を増やすことが必要である。その際、正しい形式による应答と相手の意向を踏まえた应答を重視する言語活動をバランスよく仕組むことが大切である。

#### 読むこと

- ・ 「読むこと」については良好な状況と考えることができるが、さらに教科書教材を用いた指導を継続していくとともに、設問の仕方を工夫したり、教科書以外の英文に多くふれさせたりするなどの改善が大切である。

#### 書くこと

- ・ 基本的な単語や文章を正しく書くことに課題があることから、必修単語や基本文型について、反復練習や小テストによるチェック等を通して、定着を図る必要がある。
- ・ 話の流れを意識しながらまとまった量の英文を書くことに課題があることから、1文から徐々に量を増やししながら、自分の考えなどについて書く活動を継続的に行う必要がある。その際、文のつながりや構成に留意した書き方を具体的に指導することが大切である。

(資料)

学力調査の出題範囲(小学校)

	内 容	県内使用教科書の範囲 (第5学年のみ)
国 語	説明文 言語事項 作文 聞き取り問題 第3学年及び第4学年、第5学年の1学期 までの学習に準じた問題(漢字については、 第4学年までの配当の範囲)	
社 会	第3学年及び第4学年の内容	
	第5学年 内容(1)我が国の農業や水産業に ついて	[東 書] p 6 ~ p 4 9 [大 書] p 3 0 ~ p 7 6 [教 出] p 8 ~ p 5 7
算 数	第4学年の内容	
	第5学年 内容 A 数と計算 (1)ア 偶数、奇数 (2)ア 10倍、100倍、1/10、 1/100などの大きさの数 内容 C 図形 (1)ア 平行、垂直 イ 平行四辺形、台形、ひし形 ウ 基本的な図形の性質、構成	[啓林館] 上巻 p 2 ~ p 6 7 [大 書] 上巻 p 4 ~ p 6 2 [学 図] 上巻 p 4 ~ p 1 0 7
理 科	第4学年の内容	
	第5学年 内容 A 生物とその環境 (1)植物の発芽、成長及び結実とそ の条件 (2)動物の発生や成長	[啓林館] 上巻 p 4 ~ p 4 3 [東 書] 上巻 p 1 4 ~ p 3 7 上巻 p 4 0 ~ p 4 7 [大 日] 上巻 p 4 ~ 1 7 上巻 p 3 4 ~ p 3 5 上巻 p 3 8 ~ p 5 5 上巻 p 6 0 ~ p 7 1 [学 図] 上巻 p 1 4 ~ p 5 7
	第5学年 内容 C 地球と宇宙 (1)天気の変化 (台風の進路による天気の変化や 台風と降雨との関係)	[啓林館] 上巻 p 4 8 ~ p 5 1 [東 書] 上巻 p 4 8 ~ p 5 1 [大 日] 下巻 p 4 ~ p 1 3 [学 図] 上巻 p 6 0 ~ p 6 3

上記出題範囲より調査問題を作成するが、複式学校におけるA、B年次の関係等により、学力調査実施期日までに学習していない内容の問題については、調査を実施しない。なお、出題範囲は事前に児童に通知してもかまわないが、事前の特別な指導等を強いるものではない。

学力調査の出題範囲（中学校）

	内 容	県内使用教科書の範囲
国 語	説明的文章 文学的文章（小説） 古典 言語事項 作文 聞き取り問題 第1学年及び第2学年の1学期までの 学習に準じた問題	
社 会	地理的分野 内容（1）世界と日本の地域構成 内容（2）地域の規模に応じた調査	〔東 書〕 p 5 ~ p 1 2 6 〔帝 国〕 p 5 ~ p 1 3 0
	歴史的分野 内容（1）歴史の流れと地域の歴史 内容（2）古代までの日本 内容（3）中世の日本 内容（4）近世の日本 内容（5）近現代の日本と世界 ア 市民革命・産業革命・開国	〔東 書〕 p 5 ~ p 1 2 1 〔大 書〕 p 1 ~ p 1 1 3 〔帝 国〕 p 5 ~ p 1 4 9
数 学	第1学年の内容	
	第2学年 内容 A 数と式 （1）文字式 （2）連立二元一次方程式 内容 C 数量関係 （1）一次関数（一部）	〔大 書〕 p 5 ~ p 5 3 〔学 図〕 p 6 ~ p 6 1 〔啓林館〕 p 4 ~ p 6 1
理 科	第1分野 内容（1）身近な物理現象 内容（2）身の回りの物質 内容（3）電流とその利用	〔啓林館〕 p 2 ~ p 1 1 0 〔大日本〕 p 2 ~ p 1 2 3
	第2分野 内容（1）植物の生活と種類 内容（2）大地の変化 内容（3）動物の生活と種類	〔啓林館〕 p 2 ~ p 1 1 0 〔大日本〕 p 2 ~ p 1 1 3
英 語	聞き取り問題 まとまった内容の英文の読み取り問題 指定されたトピックまたは条件での英 作文 第1学年及び第2学年の1学期までの 学習に準じた問題	〔東 書〕 第1学年の教科書 第2学年 p 2 ~ p 4 1 〔開隆堂〕 第1学年の教科書 第2学年 p 4 ~ p 4 3 〔学 図〕 第1学年の教科書 第2学年 p 8 ~ p 4 6

上記出題範囲より調査問題を作成するが、学力調査実施期日までに学習していない内容の問題については、調査を実施しない。なお、出題範囲は事前に生徒に通知してもかまわないが、事前の特別な指導等を強いるものではない。